

## センサーで自動点灯・自動消灯

RITEX  
ライテックス

# セキュリティライト ダミーカメラ付

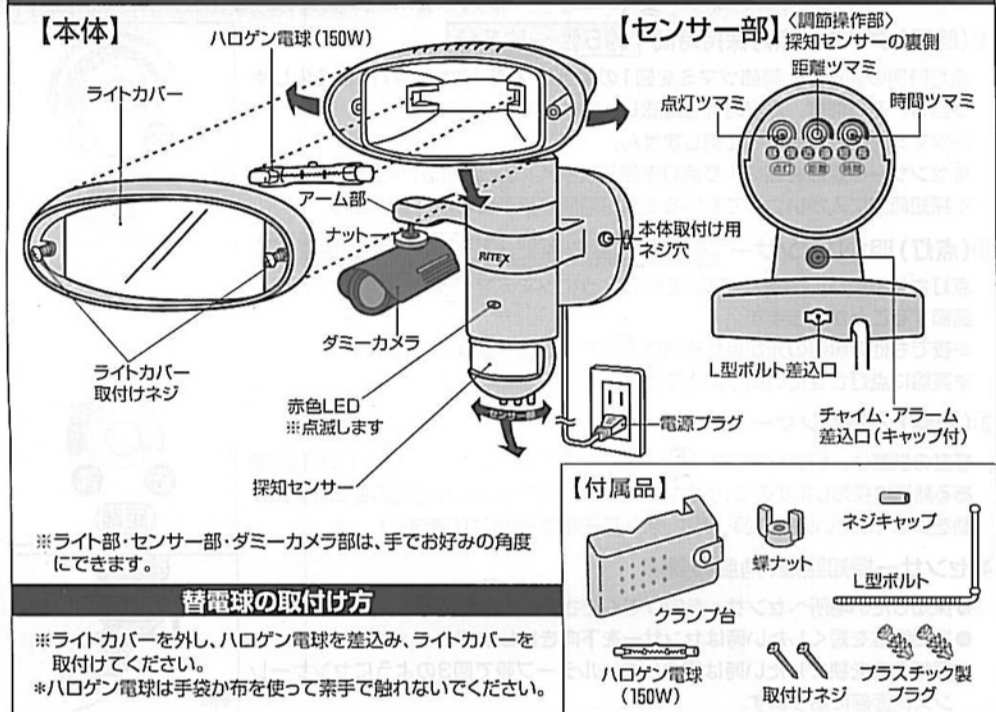
## ハロゲン球 150W C-150 取扱説明書

この度は、ライテックスのセキュリティライトダミーカメラ付をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくご使用いただくために、必ず取扱説明書をよく読んでください。

### 注意

- 本機のカメらはダミーです。カメラとしての撮影機能はありません。本機は防犯を事前に抑止する効果を期待する商品で、犯罪の防止をお約束するものではありません。設置後のいかなる責任も当社では一切負いかねますのでご了承ください。
- 取り付けは引火しやすい物、燃えやすい物の近くでは絶対に行わないでください。
- 気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間を置いて再度ご確認ください。

### 1. 部位説明



## 2. 警告

- ①電源はコンセントから取ってください。  
 ●屋外のコンセントは防水型を使用してください。  
 ●電線と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取付けてください。  
 ※電球を取替える時や漏電、停電後の再調節で電源を切る必要があるためです。
- ②電球を取替える時は  
 ●電球は消灯していても、本機の電子回路には電気が流れているので、突然ライトが付くと危険です。必ずコンセントからプラグを抜いてから取替えてください。
- ③本機のダミーカメラを、他のカメラに取替えてはしないでください。  
 ●取替後の、事故、故障、その他の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- ④取り付け場所は、燃えやすい物が近くにない所を選んでください。  
 ●ライト部、特に透明ガラス部は高温になります。燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けないでください。  
 ●壁でも本体に物(布団や布等)を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。
- ⑤火傷に注意してください。  
 ●点灯中、消灯後も電球、ライト部は熱くなっていますので絶対に触れないでください。
- ⑥屋外に取付ける場合は  
 ●本機は防雨構造です。通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので、大量の水のかかるような所には取付けないでください。  
 ※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。
- ⑦屋内・屋外に関係なくライトは斜め向き、下向き、逆さまには絶対に取付けないでください。
- ⑧本機を改造しないでください。
- ⑨電波を出す器具の近くには取付けないでください。  
 ●電波を出す器具や本機が誤動作する場合があります。

※本機は探知範囲内に侵入する物(人・車等)に対して注意を促しますが、盗難や犯罪が発生しても一切の責任を負いません。  
 ※製品改良のため、仕様および外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



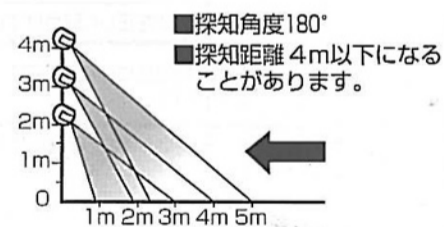
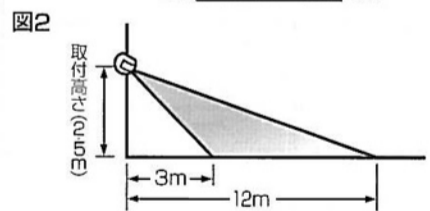
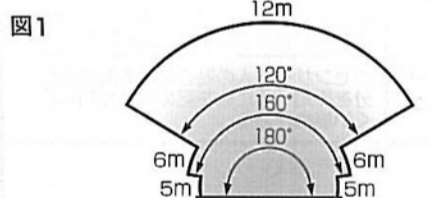
### 3. センサーの探知範囲

■センサーは最長約12m×180°の範囲で動く人や車を探知します。

〈焦電型赤外線センサー探知距離〉 (距離ツマミが●側の時)

●センサーに向かって左右に横切った場合 (敏感に探知します) (本体取付け高さ2.5mの場合)

●センサーに向かって直進した場合 (探知が鈍い) (本体取付け高さ2.5mの場合)



\*センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。  
 \*夏場の周囲の温度が高く、人からできる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

### 4. 取り付け場所に注意

\*センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図の場所に取付けると誤動作や、動作しない時があります。

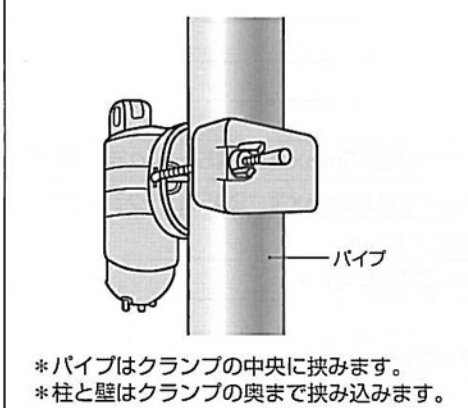
風などでゆれる植木やカーテン等の近く 	エアコン等の送風を受ける所 	大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける所 	ガラスや壁ごしの所 
強い振動を受ける所 	車の通る道路に面した所 	電波の強い所 	取付け高さが5m以上の所 

### 5. クランプで挟む取付け方

⚠注意 クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

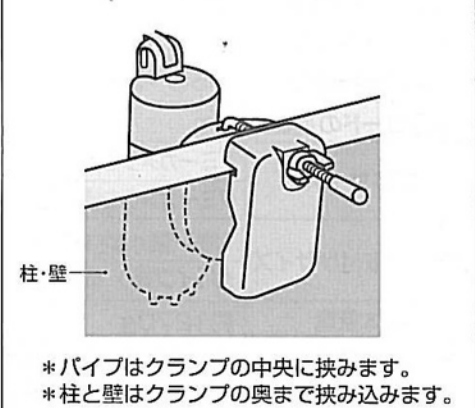
#### 上向きの柱、パイプの場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°倒します。
- ② L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。



#### 横向きの柱、丸パイプへの場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°倒します。
- ② L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。



## 6. 本体を壁に直接の取付け方

### ① 木材などの壁等に取付けの場合

1. 付属の取付けネジ2本でしっかりと固定してください。

### ② コンクリートの壁に取付けの場合

(ブロック、レンガ、タイル等の場合もこの方法で行ってください。プラスチックプラグを使用して固定してください。)

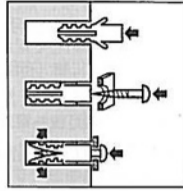
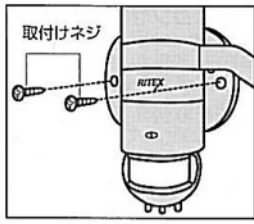
1. 取付ける位置に、本体をあてがい印をつけます。

2. 電気ドリル等で6mmの穴をあけ、付属のプラスチックプラグを図のように差込み、金槌等で軽く叩いて表面を合わせます。

3. 付属の取付けネジ2本で、本体を取付けます。

### ③ アルミ板、薄鉄板の取付けの場合

取付ける位置に3.3mmの穴をドリル等であけ、付属の取付けネジ2本でしっかりと本体を取付けます。



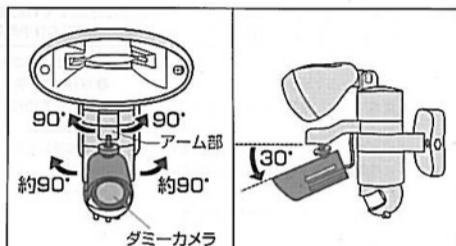
## 7. ダミーカメラの角度調整

- ライト点灯中は、ライト部は高温になります。
- ダミーカメラとライト部を接近させての使用はしないでください。
- カメラは下向きになるように取付けてください。
- ダミーカメラのアーム部は左右に90°動きます。
- ダミーカメラは左右に90°と下向きに30°動きます。

### ダミーカメラとライトを近づけない



### ダミーカメラは下向きにする



### ダミーカメラを左右にセットしての使用もできます。

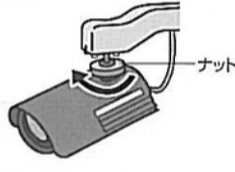
#### ダミーカメラを左にセット



#### ダミーカメラを右にセット



● ダミーカメラの角度調整をした後は、ナットがゆるんでいますので、ナットをしっかりと締めて固定してください。



## 11. チャイム・アラーム (別売)

適応機種 R-185

● (別売) チャイム&アラーム R-185 を接続すると、本機のセンサーが探知して、自動的にチャイムまたはアラームを鳴らします。

● 用途に応じてチャイムかアラームの2種類の報知音に切り替えられます。

- ・チャイム…爽やかなドアチャイムの音が来訪者の接近を知らせます。
- ・アラーム…サイレンが約30秒間鳴り、侵入者を防ぎます。

● チャイム・アラームは別回路を設けておりますので、ライトの点灯に関係なく鳴ります。

### 取付け方

本体下部に差込口があります。キャップを外しチャイム&アラームのプラグを差し込みます。

※10mのコード付きです。コードの延長は勧められません。誤動作の原因になります。

## 12. 替球のお買いもつめについて

● 替球は本機をお買い上げの販売店へご注文してください。

尚、入手困難な場合は直接 (株) プロトへご注文いただければお送り致します。

● SA-151 替球 (ハロゲン電球150W) は¥1,400 (消費税・送料込み)

但し、代金は前金でお願い致します。郵便切手でも結構です。

## 13. 仕様

電圧	AC100V
消費電力	150W(待機時1.5W)
ハロゲンライト適応電球	ハロゲン電球150W(100-110V R7s)
センサー探知方式	焦電型赤外線センサー
センサー探知範囲	水平約180°・約12m
点灯保持時間	約5秒~約5分
電源コードの長さ	5m
本体サイズ	ダミーカメラを前の時 幅158mm×奥246mm×高さ245mm(クランプ除く) ダミーカメラを横の時 幅200mm×奥188mm×高さ245mm(クランプ除く)
クランプ取付けサイズ	〈厚〉最小約15mm~最大約115mm 〈パイプ径〉最小約30mm~最大約90mm
本体重量	約1270g
チャイム・アラーム	チャイム・アラーム出力端子 ※別売チャイム&アラームR-185 対応
設置場所	屋内、屋外用(防雨タイプ)

## 8. センサーのテスト動作

- 点灯ツマミを **昼** に回す
- 距離ツマミを **遠** に回す
- 時間ツマミを **短** に回す



● 電源を入れてから探知範囲から出る

点灯 → 消灯

● 約30秒点灯後に消灯

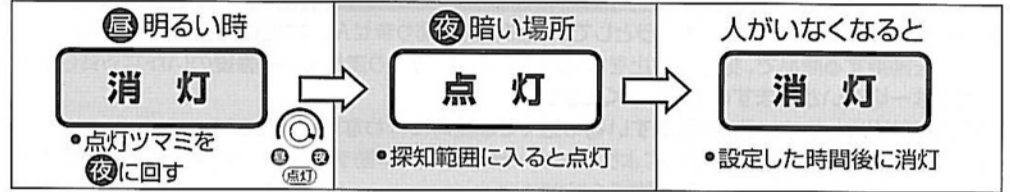
● センサー探知範囲に入り、すぐに出る

点灯 → 消灯

● 約5秒後に消灯

△注意 点灯、消灯しない時は 14.故障かなと思った時 事項を参照してください。

## 9. センサーの通常動作



## 10. センサーをお好みのモードに調節します

### ① (時間) タイマー点灯保持時間 約5秒~約5分

点灯時間の調節は、調節ツマミを図1のように **短** (約5秒点灯) から少しずつ回し、その都度、点灯時間を確認し、調節してください。

※ツマミ角度は時間とは比例しません。

※センサーの探知範囲に入り点灯を確認後すぐに探知範囲外へ出てください。

※探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。



### ② (点灯) 明かりセンサー **昼も夜も点灯・夜暗い時だけ点灯**

点灯させる周りの明るさ調節は図2のようにツマミを **昼** から **夜** に、点灯を調節することができます。

※夜でも他の照明の光が当たる時は **昼** 側に調節します。

※実際に点灯させたい周りの明るさの時に調節してください。



### ③ (距離) 人感センサー

感度の調節は、調節ツマミを **近** へ回すと弱くなります。(人以外にも動きのある熱源に探知しますので、小さな犬、猫やクーラーの熱、太陽光の変化等に誤動作を少なくしたい時に調節します。また探知距離も短くなります。)

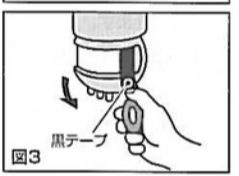


### ④ センサー探知距離、角度の調節

● 探知したい場所へセンサーを向けてください。

● 探知距離を短くしたい時はセンサーを下向きにします。

● 探知角度を狭くしたい時は黒のビニールテープ等で図3のようにセンサーレンズ側面に貼ります。



## 14. 故障かなと思った時

現象	考えられる原因	処置
点灯しない 探知範囲に人がいるのに点灯しない	電源が入っていない 探知範囲の設定が適切でない 本機に向かって真すぐ接近している 探知部(センサーレンズ)が汚れている 蒸気や雨などの水滴が付いている 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている 雨の日に傘で顔や手が隠れている	電源プラグが抜けていないか確認する(家庭用コンセントに差し) 探知範囲を調節する(センサーを探知させたい方向に向ける) 探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないようにふき取る 本センサーは人の動きによる温度変化分を感知するため左記の場合探知しにくい場合がある
点灯しない 本体(センサー内部)からカチカチ音がする	電球が切れている 電球を正しく取付けていない	電球を交換する 電球を正しく取付ける
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に入っても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている	点灯ツマミを <b>昼</b> 側に点灯するまで回す "10.②(点灯)明かりセンサー"参照
消灯しない	時間ツマミが <b>長</b> 側に調節されている 探知範囲内に人がいる 時間が延長され消灯しない 回路が異常(エラー)している	時間ツマミを <b>短</b> 側に合わせる "10.①(時間)タイマー点灯保持時間"参照 探知範囲外に移動する 電源プラグを抜き2分後再び差し(リセットして回路を正常に戻す)
昼なのに点灯する 周囲が明るいのに	点灯ツマミが <b>夜</b> 側に調節されている	点灯ツマミを <b>昼</b> 側に合わせる "10.②(点灯)明かりセンサー"参照
探知範囲に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある(例)・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている ・風などでよく揺れる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) "4.取付け場所に注意"参照 探知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを感知している ライトがセンサー部をさえぎっている	誤動作源を取り除く(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する) 探知範囲を規制する "10.④センサー探知距離、角度の調節"参照 ライトをセンサーから離す
探知範囲に人がいるのに消灯する	電源を投入した直後(停電直後) 時間ツマミが <b>長</b> 側に調整されている 探知範囲内で人/ 禁止している	時間(タイマー)経過後、消灯することを確認する "10.①(時間)タイマー点灯保持時間"参照 時間ツマミを <b>短</b> 側に合わせる "10.①(時間)タイマー点灯保持時間"参照 本センサーは静止している人には性能上探知できません
チャイム・アラーム 人がいないのに反応する (チャイム・アラームは別売)	探知範囲内に誤動作源がある ・昼は特に太陽の変化を受けやすい ・風などでよく揺れる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等) ・犬や猫などが動いている	誤動作源を取り除く(探知範囲を調節する) (左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する) (探知範囲を規制する) (センサーの向きを変える、センサーに黒テープを貼る) "10.④センサー探知距離、角度の調節"参照